



# 高輪だより

令和3年度 3月号  
港区立高輪幼稚園  
園長 柿沼 敦子

令和3年度の終わりに

園長 柿沼 敦子

令和3年度も残すところあと1か月となりました。

ある日、保育室に戻るために並び始めた年長児の姿を見つけました。誰が1番になるかという争いもなく、準備ができた子から列になり動き出します。ある子が友達の忘れた水筒を届けに行く姿もありました。「はい、どうぞ」「あ、わすれてた、ありがとう」それらの自然な様子に大きくなったことを実感しました。

3、4歳の頃のあどけない顔とともに思い出す姿は、1番になりたくていざごぎが始まったり、やりたかったことができなくて泣いたり、「ごめんなさい」が言えなかったり…まだまだ自己中心的で相手の気持ちまで思いが及ばないという3、4歳児として当然の姿でした。日々の「わくわく」する園生活の中でありのままの自分を表現し、集中して遊び込み、友達と関わり、時には自分の心と葛藤しながら…そんな日々を積み重ねながら自己実現する喜びを感じ自信ができました。自分で考えて行動する力や社会性、協同性が育まれ、相手への思いやりの心が大きく育ちました。

先日の子ども会の劇では、堂々と自分の役や劇中での役割（電気を消す、大道具を出す、効果音を出すなど）をしっかりと行う姿がありました。その堂々たる自信に満ちた姿に胸がいっぱいになりました。この姿は、現在の年少組や年中組の来年、再来年の姿です。子どもたちは、学級の一人ひとりのこともよく分かっていて、互いにその良さを認め合えるチームすみれ組として大きく成長しました。保護者方々の「ぼかぼか」とした温かい関わりも子どもたちの生活に大きく影響を与えていたと実感しています。

年中組も年少組も、あと1か月で進級です。4月の様子を思い出してみると、自分のことを自分でする姿、話を聞く様子、やりたいことを実現しながら遊ぶ姿に頼もしさを感じ、十分に進級の準備ができていると感じ、うれしい気持ちでいっぱいです。

「みんな笑顔」で進級、進学の日を迎えることを楽しみにしています。令和4年度も高輪幼稚園の教育の充実に向けて教職員一同、一層努めてまいります。保護者の皆様、地域の皆様のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

今月のねらい

<3歳児>

- 気の合う友達や同じ場にいる友達と、簡単な言葉でやりとりをしながら、一緒の場で遊ぶことを楽しむ。
- 自分ができるようになったことに自信をもち、園の行事の参加を通して進級することを楽しみにする。

<4歳児>

- 相手の思いを知ったり自分の思いを受け止めてもらったりして、友達と関わる楽しさを感じる。
- 年長児が修了することが分かり、感謝の気持ちや自分が進級する事への期待をもつ。

<5歳児>

- 就学への期待をふくらませ、自信をもって遊びや生活を進める。
- 幼稚園生活を振り返ったり、自分たちの成長を感じたりするなかで、お世話になった人がいることに気づき、感謝の気持ちを表そうとする。

わくわく ぼかぼか  
みんなえがおの  
たかなわようちえん

開園記念日

高輪ゲートウェイ駅の方々、サフィール踊り子の運転士さんによる鉄道や駅のマナークイズで楽しい時間を過ごしました。



高輪森の公園

5歳児最後の地域探検。大きな崖を登ったり下りたり…たくましく成長しました。

